

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさまスマイル（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	SST（ソーシャルスキルトレーニング）による社会性の獲得	社会のルールや役割のお勉強だけでなく、季節ごとのイベントや行事をするときには合わせて意味を説明し、日本の風習や慣習への理解を深めるとともに季節の感覚や認知を養うことができるようにしています。	ソーシャルスキルについてのアセスメントをとって、必要なスキルを明確にし、個に応じた標的スキルの獲得を目指して支援している。 心理師による専門的支援でSSTを計画的に実施している。
2	宿題等の学習支援を通して、個の特性からの学びにくさが解消できるように指導する	簡易的な学習面のアセスメントツールを活用し、苦手さの原因を明確にし、その改善につながるような教え方をする。	カラーフィルムやリーディングルーラー等の補助具を活用できるように保護者に紹介したり、効果的な使い方を本人に伝え、練習する。
3	DCDや体幹の弱い児童等への感覚・運動面の問題への指導をしている	運動担当の先生（体育教員、武道の先生）を配置して指導してもらっています。	特性や発達段階に合わせた授業ができるように、運動担当の先生に対して研修を行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別に割り当てる時間が短くなってしまうこと。	集団で行う取り組みやSSTに時間を取りすぎている為	集団と別に専門的支援での個別学習を取り組みとして行うようになった
2	保護者の方々との交流が少なくなっていること	保護者の方の時間的都合が合わない事 相談などができる体制をとっていることを周知出来ていない事	土曜日などにも相談の時間を設ける LINEやHPなどで保護者の方への周知を促す
3	定員により新しく利用を希望する方々へのご案内ができないこと	多機能型で継続利用する児童が多いため	一貫した療育が行えることはおひさまスマイルの強みなので事業所を増やす方向で考えています